

# CCUSの早期社会実装のための環境調和の確保及び脱炭素・循環型社会モデル構築事業 (一部経済産業省連携事業)



【令和3年度要求額 8,900百万円（7,500百万円）】

CCUS（CO<sub>2</sub>の分離回収・有効利用・貯留）の技術を確立するとともに、実用展開に向けた実証拠点・サプライチェーンの構築を行います。

## 1. 事業目的

2030年のCCUSの本格的な社会実装と環境調和の確保のため、商用化規模におけるCO<sub>2</sub>分離回収・有効利用技術等の確立とともに、脱炭素・循環型社会のモデル構築を通じ、実用展開に向けた実証拠点・サプライチェーンを実現する。

## 2. 事業内容

### （1）二酸化炭素貯留適地調査事業（経済産業省連携事業）

海底下地質の詳細調査を実施し、CO<sub>2</sub>の海底下貯留に適した地点の抽出を進める。

### （2）環境配慮型CCUS一貫実証拠点・サプライチェーン構築事業

#### （一部経済産業省連携事業）

CO<sub>2</sub>分離回収・有効利用設備の実証等の運用・評価実績をもとに、CCUSの実用展開のための一貫実証拠点・サプライチェーンを構築する。また、CO<sub>2</sub>の資源化を通じた脱炭素・循環型社会のモデル構築、国際協調を踏まえたCO<sub>2</sub>輸送・貯留等の実現性検討や案件形成を通じた関連技術・ノウハウの涵養等を行う。

### （3）海洋環境保全上適正な海底下CCS実施確保のための総合検討事業

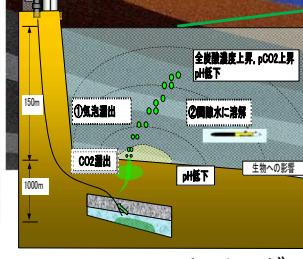
苫小牧沿岸域にて実証を行っている海底下CCS事業、CO<sub>2</sub>圧入終了後に係る、最新の知見・技術を活用した適正なモニタリングの在り方を検討する。

## 3. 事業スキーム

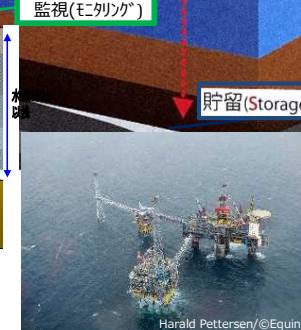
- 事業形態 委託
- 委託先 民間事業者・団体、大学、公的研究機関 等
- 実施期間 (1) 平成26年度～令和3年度、(2) 平成26年度～令和7年度  
(3) 平成3年度～令和5年度



◆ CO<sub>2</sub>分離回収



◆ CCSモニタリング



◆ 輸送・貯留



◆ CO<sub>2</sub>の有効利用  
(化成品の合成、培養等)